

「資 料」

令和4年度(第64回)水道週間の実施状況

- 各水道事業者水道週間実施報告から -

日本水道協会調査部調査課

1. はじめに

(1) 水道を取り巻く現状

我が国の水道は、今やほぼ全ての国民が利用できるまでに普及しており、健康で文化的な国民生活や様々な社会経済活動を支えるうえで必要不可欠な生活基盤施設となっている。

一方、総人口は減少に転じ、給水収益が減少の一途をたどるとともに、水道事業者職員数も減少しており、水道事業の運営、経営はますます厳しくなっている。

そうした中、老朽化施設の更新・再構築、地震等の災害対策の推進、安全・安心な水の供給の確保等、持続可能な水道事業の構築に向け、水道の基盤強化のための各種取組みの推進が求められている。

特に、防災・減災、国土強靱化に即した強い水道づくりや全国の水道事業者による被災地への応急給水・復旧体制整備等の災害対策及び危機管理面の強化も求められている。

(2) 水道週間の概要

水道週間は、こうした水道を取り巻く状況を踏まえ、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組みについて協力を得るために、関係者が連携して広報活動等を重点的に実施するものである。

本週間を主催する厚生労働省より示された実施要綱の概要は以下のとおりである。

- 名 称 第64回「水道週間」
- 期 間 令和4年6月1日(水)から6月7日(火)まで
- スローガン 「大切な水と一緒に暮らす日々」

➤ 実施目標

- ①災害に強い水道づくりのため、水道施設・管路の耐震化の促進について、国民の理解と協力を求めること。
- ②渇水への対処や将来にわたり安定して水道水を供給するため、水道水源の水量確保や節水、水道施設の維持・修繕及び計画的な更新の重要性について、国民の理解を求めること。
- ③消毒副生成物や病原性微生物問題等の水質問題への対応を含めて、安全で良質な水道水の供給を確保するため、水道水源の水質保全や高度浄水施設の整備について、国民の理解と協力を求めること。
- ④給水装置に関する制度の円滑な実施を図るとともに、維持管理の重要性について理解と協力を求めること。



図-1 第64回水道週間ポスター

- ⑤水道事業経営の仕組みや水道料金等について、正しい知識を提供し、理解を得ること。
- ⑥簡易専用水道や小規模貯水槽水道の管理について、正しい知識を提供し、管理の重要性について理解を得ること。
- ⑦水道事業ビジョン（地域水道ビジョン）について、公表により需要者への情報提供と理解の向上を図ること。

2. 各水道事業体の活動状況

(1) アンケートの概要

本協会では、水道週間等の活動を通じて水道に関する広報活動を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的として、全正会員1,335団体に対して、水道週間の実施状況についてアンケート調査を実施した（表-1、表-2）。

その結果、814団体より回答があり、回答のあった正会員のうち、83.8%が水道週間期間中に広報活動を実施しており、昨年度と比べて2.4ポイントの増となった（表-3）。

また、広報活動を実施していない正会員のうち、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）対策を理由とする割合は19.7%であり、昨年度から3ポイントの減となった（表-4）。

表-1 アンケート回答結果

項目	今年度	昨年度
調査対象数	1,335	1,337
有効回答数	814	830
無回答、不明	521	507
回答率	61.0%	62.1%

表-2 地方支部回答数

地方支部名	正会員数	回答数	割合	昨年度
北海道	135	63	46.7%	46.3%
東北	164	105	64.0%	59.5%
関東	235	156	66.4%	71.5%
中部	259	173	66.8%	69.5%
関西	172	108	62.8%	59.9%
中国四国	155	90	58.1%	61.3%
九州	215	119	55.3%	57.0%
合計	1,335	814	61.0%	62.1%

表-3 水道週間中の広報活動の実施状況

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	682	83.8%	81.4%
実施していない	132	16.2%	18.6%
合計	814	100.0%	100.0%

表-4 水道週間中の広報活動をしない理由

項目	回答数	割合	昨年度
新型コロナウイルス感染症対策のため	26	19.7%	22.7%
その他（例年実施していない場合も含む）	106	80.3%	77.3%
合計	132	100.0%	100.0%

以下、各地の実施報告を中心に、その内容を紹介する。なお、感染症拡大防止の観点から例年どおりの開催に制約がある中、全国各地で水道週間期間中に独自の工夫を凝らした広報活動が展開されていることから、特に対面式のイベント等に関連するアンケート項目において、感染症流行前の令和元年度の結果と比較・分析をしている。

(2) 広報媒体・イベント

水道週間に係る広報活動については、89.3%が「ポスター」を利用して実施している。また、49.3%が「広報誌（紙）」を利用して実施している。これらは、従前より水道週間の広報媒体として上位を占めており、定着率が高いものと考えられる。これ以外に活用した広報手段としては、実施数が多い順に「小・中学校などへの文書の配布」（36.5%）、「ホームページ」（35.5%）、「懸垂幕」（23.6%）、「のぼり旗」（21.8%）となっている（表-5）。

また、水道週間期間中に実施したイベントや行事については、感染症流行前の水準には及ばないものの、感染症対策を講じたうえでイベント等を実施した団体が昨年度に比べ増加した（表-6）。なお、各イベント等の結果については後述する。

(3) 広報・広聴の内容

広報・広聴の内容として、「水道週間の趣旨・標語の掲載」をした団体が79.8%と最も多く、次いで「水道週間行事の紹介・参加募集」（18.9%）、

表-5 水道週間の実施に当たり活用した広報媒体(複数回答)

項目	①広報誌(紙) (地方公共団体 及び水道事業 体作成を含む)	②ポスター	③チラシ	④ホーム ページ	⑤SNS	⑥メール マガジン	⑦検針票 のお知らせ欄	⑧小・中 学校など への文書 配布	⑨庁内広 報掲示板	⑩懸垂幕
実施数	336	609	61	242	84	5	13	249	118	161
実施率	49.3%	89.3%	8.9%	35.5%	12.3%	0.7%	1.9%	36.5%	17.3%	23.6%
昨年度 実施率	47.6%	89.9%	6.8%	33.0%	8.3%	1.0%	1.8%	34.0%	16.6%	23.2%
項目	⑪のぼり旗	⑫横断幕	⑬立て看板	⑭電光掲示板	⑮広報車	⑯防災無線	⑰広報グッズ	⑱マスメディア	⑲その他	
実施数	149	100	30	25	14	8	142	130	14	
実施率	21.8%	14.7%	4.4%	3.7%	2.1%	1.2%	20.8%	19.1%	2.1%	
昨年度 実施率	22.0%	14.8%	3.8%	3.4%	1.5%	0.7%	16.4%	17.0%	6.4%	

表-6 実施したイベント・行事(複数回答)

項目	①水道施設 の見学会・ 一般開放	②作品募集(図 画、標語、作文、 写真、書写など)	③水道 相談所 の設置	④アン ケート 調査	⑤街頭 啓発	⑥奉仕活動(清 掃、植樹、無 料点検など)	⑦広報 ビデオ の上映	⑧水道 出前授 業	⑨講演 会	⑩①～⑨に 含まれないイ vent・行事	⑪イvent は実施して いない(※)
実施数	55	65	13	29	30	62	16	15	0	74	309
実施率	8.1%	9.5%	1.9%	4.3%	4.4%	9.1%	2.3%	2.2%	0.0%	10.9%	45.3%
昨年度 実施数	38	63	7	9	19	43	7	16	0	27	-
昨年度 実施率	5.6%	9.3%	1.0%	1.3%	2.8%	6.4%	1.0%	2.4%	0.0%	4.0%	-
令和元年度 実施数	200	96	44	79	74	103	31	26	4	60	-
令和元年度 実施率	25.7%	12.3%	5.7%	10.2%	9.5%	13.2%	4.0%	3.3%	0.5%	7.7%	-

※令和4年度より調査を開始した項目

表-7 広報・広聴の内容(複数回答)

項目	①水道週間 の趣旨・標 語の掲載	②水道週間行 事の紹介・参 加募集	③水道施設見 学会開催案 内・参加募集	④水道水の 水質(飲用・ 安全性など)	⑤水道 水の使用 状況	⑥給水装 置・給水管 の維持管理	⑦水道料金	⑧水道工事 (水道施設の 耐震化含む)	⑨防災・ 災害の備 え	⑩水道 メーター の検針
実施数	544	129	30	113	20	48	39	59	69	37
実施率	79.8%	18.9%	4.4%	16.6%	2.9%	7.0%	5.7%	8.7%	10.1%	5.4%
昨年度 実施率	76.8%	16.1%	2.1%	16.1%	1.8%	6.5%	4.4%	6.7%	9.2%	4.4%
項目	⑪水道事 業の経営	⑫水源開発・ 節水の重要 性	⑬水道水源 の水質保全	⑭水道の加 入促進	⑮給水 区域	⑯漏水に 関するお 知らせ	⑰水質検査など を装った悪質商 法への注意喚起	⑱貯水槽水 道の管理・ 点検	⑲地域水 道ビジョ ン	⑳その他
実施数	26	23	35	12	21	70	7	13	13	57
実施率	3.8%	3.4%	5.1%	1.8%	3.1%	10.3%	1.0%	1.9%	1.9%	8.4%
昨年度 実施率	4.4%	2.2%	3.7%	1.5%	1.6%	9.0%	1.2%	1.9%	2.1%	8.1%

「水道水の水質」(16.6%)であった。その他には「水道事業の経営」(3.8%)や施設の耐震化を含む「水道工事」(8.7%)、「防災・災害の備え」(10.1%)についても取り上げ、水道事業全体に係るお客様の理解を促進する情報や自助意識を高める情報を発信している(表-7)。

(4) 広報グッズ

水道週間期間中のイベント等の際に「広報グッズ」の配布を行った団体は20.8%の142団体であり、昨年度と比べて4.4ポイントの増となっている(表-8)。配布したグッズは、「ティッシュ」が29.6%と最も多かった。次いで、水道事業等を紹介する「パンフレット」(24.6%)、水道事業体で作成した「ボトルウォーター」(23.9%)となっている(表-9)。また、その他の事例として、感染症対策用にマスクや除菌ウェットティッシュ、ハンドソープの配布を行った団体もあり、新たな広報グッズとして定着するか、今後の動向を注視したい。

表-8 広報グッズの配布

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	142	20.8%	16.4%
実施していない	540	79.2%	83.6%
合計	682	100.0%	100.0%

表-9 広報グッズの配布内容(複数回答)

項目	①パンフレット	②筆記用具	③ノート・メモ帳・付箋	④下敷き	⑤クリアファイル	⑥定規	⑦ティッシュ	⑧ハンドタオル・ハンカチ	⑨トートバッグ(エコバッグ)	⑩ボトルウォーター(ペットボトル・缶)	⑪飲料用水袋	⑫防災・防犯グッズ
実施数	35	25	3	15	17	5	42	5	13	34	9	3
実施率	24.6%	17.6%	2.1%	10.6%	12.0%	3.5%	29.6%	3.5%	9.2%	23.9%	6.3%	2.1%
昨年度実施率	20.7%	16.2%	1.8%	13.5%	13.5%	2.7%	26.1%	1.8%	1.8%	20.7%	3.6%	0.0%
項目	⑬キッチングッズ	⑭バス・洗面グッズ	⑮救急・応急グッズ	⑯うちわ	⑰パソコン・スマホ周辺グッズ	⑱シール	⑲風船	⑳玩具(缶バッジ・キーホルダー・ストラップ)	㉑花・観葉植物・種	㉒修繕セット(パッキン・節水コマ)	㉓その他	
実施数	3	2	3	11	1	8	3	6	6	13	15	
実施率	2.1%	1.4%	2.1%	7.7%	0.7%	5.6%	2.1%	4.2%	4.2%	9.2%	10.6%	
昨年度実施率	0.0%	0.0%	2.7%	11.7%	0.0%	0.9%	0.9%	1.8%	2.7%	9.0%	9.0%	

(5) マスメディア

マスメディアを活用した広報を実施した団体の割合は19.1%であった(表-10)。媒体別では、「新聞」を利用した団体が68.5%と最も多く、次いで「ラジオ」(26.2%)、「テレビ・CATV」(22.3%)となっている(表-11)。

マスメディアの活用は、話題性・影響力等から、最も広報効果の大きい媒体の一つである。単独スポットあるいは企画物の番組制作は費用面で難し

表-10 マスメディアを活用した広報活動

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	130	19.1%	17.0%
実施していない	552	80.9%	83.0%
合計	682	100.0%	100.0%

表-11 広報で活用したマスメディア(複数回答)

項目	①ラジオ	②テレビ・CATV	③新聞	④雑誌・タウン誌(紙)(地方公共団体作成の広報紙を除く)	⑤その他
実施数	34	29	89	12	5
実施率	26.2%	22.3%	68.5%	9.2%	3.8%
昨年度実施率	31.3%	20.9%	72.2%	3.5%	1.7%

いこともあるが、水道週間イベントの告知や水道週間期間中のイベントの様子取材を受け(パブリシティ)、水道施設の紹介や水道の大切さのPRに繋げることも有効である。

(6) 水道施設の見学会及び一般開放

水道施設の見学会及び一般開放については8.1%の55団体が実施しており、感染症流行前の令和元年度の水準までは戻っていないが、昨年度からは2.5ポイントの増となっている(表-12)。

見学会及び一般開放の実施対象施設については、「浄水場」を対象としたものが83.6%と最も

多く、次いで「配水池」(21.8%)、「水源地」(18.2%)となっている(表-13)。

見学会及び一般開放の対象者としては、「小学生」を対象としたものが最多の65.5%であったため、社会科見学等での受け入れが再開されたものと推察されるが、参加者を限定しない一般市民の受け入れは27.3%にとどまり、感染症前までの水準には戻っていない(表-14)。

(7) 作品募集

図画や標語等の作品募集は水道について考えるきっかけとなり、水道への関心を高めるうえでも

表-12 水道施設の見学会及び一般開放の実施

項目	回答数	割合	昨年度	令和元年度
実施した	55	8.1%	5.6%	25.7%
実施していない	627	91.9%	94.4%	74.3%
合計	682	100.0%	100.0%	100.0%

表-13 水道施設の見学会及び一般開放で対象となった水道施設(複数回答)

項目	①浄水場	②水源地	③配水池	④水質検査施設	⑤中央監視室	⑥その他
実施数	46	10	12	0	6	8
実施率	83.6%	18.2%	21.8%	0.0%	10.9%	14.5%
昨年度実施数	32	10	8	2	4	4
昨年度実施率	84.2%	26.3%	21.1%	5.3%	10.5%	10.5%
令和元年度実施数	180	34	40	28	68	24
令和元年度実施率	90.0%	17.0%	20.0%	14.0%	34.0%	12.0%

表-14 見学会及び一般開放の対象者(複数回答)

項目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	36	1	5	1	15	3
実施率	65.5%	1.8%	9.1%	1.8%	27.3%	5.5%
昨年度実施数	29	2	3	1	7	1
昨年度実施率	76.3%	5.3%	7.9%	2.6%	18.4%	2.6%
令和元年度実施数	84	5	15	2	98	18
令和元年度実施率	42.0%	2.5%	7.5%	1.0%	49.0%	9.0%

効果が大きいと考えられ、これらの作品募集については、9.5%の団体が実施している（表-15）。

募集した作品については、「図画」が86.2%と最も多く、その後「書写」（47.7%）、「標語」（36.9%）と続いている（表-16）。

作品募集の対象としては、「小学生」が86.2%

表-15 水道に関する図画等の作品募集の実施

項 目	回答数	割合	昨年度
実施した	65	9.5%	9.3%
実施していない	617	90.5%	90.7%
合 計	682	100.0%	100.0%

表-16 募集作品の内容（複数回答）

項 目	①図画	②標語	③作文	④写真	⑤書写	⑥その他
実施数	56	24	22	11	31	3
実施率	86.2%	36.9%	33.8%	16.9%	47.7%	4.6%
昨年度 実施率	82.5%	39.7%	36.5%	14.3%	49.2%	11.1%

表-17 作品募集の対象者（複数回答）

項 目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	56	31	4	0	6	6
実施率	86.2%	47.7%	6.2%	0.0%	9.2%	9.2%
昨年度 実施率	87.3%	54.0%	7.9%	0.0%	7.9%	9.5%

表-18 募集した作品の展示会・表彰式の開催

項 目	今年度		昨年度		令和元年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	40	61.5%	27	42.8%	55	57.3%
実施していない	24	36.9%	33	52.4%	38	39.6%
無回答	1	1.5%	3	4.8%	3	3.1%
合 計	65	100.0%	63	100.0%	96	100.0%

表-19 水道相談所の設置

項 目	今年度		昨年度		令和元年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	13	1.9%	7	1.0%	44	5.7%
実施していない	669	98.1%	669	99.0%	734	94.3%
合 計	682	100.0%	676	100.0%	778	100.0%

と最多で、次いで「中学生」（47.7%）、「参加者は限定しない」（9.2%）となっている（表-17）。

また、作品募集を実施した団体のうち、61.5%が募集した作品の展示会・表彰式を開催している。開催の形態（参加またはオンライン方式）についてのアンケート調査は実施していないが、昨年度と比較して実施団体が増加し、実施割合としては感染症前を上回る結果となっている（表-18）。

(8) 水道相談所

水道相談所の開設状況については、1.9%の13団体が「設置した」と回答しており、昨年度から倍増している（表-19）。相談所は、対面形式の

ものが一般的であり、感染症流行下では引き続き実施が困難な活動の一つと考えられる。

相談所の設置場所は、「庁舎内」が76.9%、昨年度は0%であった「イベント会場」が30.8%となった(表-20)。

相談内容としては、「水道料金」に関する相談の割合が30.8%と最も多く、次いで「水道水の水質」(23.1%)となっている(表-21)。

(9) アンケート

水道に関するアンケート調査の実施状況については、4.3%の29団体が「実施した」と回答して

いる(表-22)。

アンケートの実施方法は、「イベント等会場調査」が75.9%と最も多く、次いで「インターネット調査」(17.2%)となっている(表-23)。

アンケートの内容としては、「水道水の水質」が最多の58.6%、次いで「防災・災害の備え」及び「広報活動」(51.7%)、「水道水の使用状況」(37.9%)、となっている(表-24)。また、その他の事例として、今後取り組んで欲しいことや知りたい情報に加え、イベントの満足度や理解度をアンケート調査し、広報の効果を調査する例も

表-20 相談所の開設場所(複数回答)

項目	①イベント会場	②街頭	③庁舎内	④商業施設	⑤その他
実施数	4	0	10	0	0
実施率	30.8%	0.0%	76.9%	0.0%	0.0%
昨年度実施率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

表-21 相談所の相談内容(複数回答)

項目	①水道水の水質(飲用・安全性など)	②水道水の使用状況	③給水装置・給水管の維持管理	④水道料金	⑤水道工事(水道施設の耐震化含む)	⑥防災・災害の備え	⑦水道メーターの検針	⑧その他
実施数	3	2	2	4	2	0	0	6
実施率	23.1%	15.4%	15.4%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	46.2%
昨年度実施率	28.6%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%

表-22 水道に関するアンケートの実施

項目	回答数	割合	昨年度
実施した	29	4.3%	1.3%
実施していない	653	95.7%	98.7%
合計	682	100.0%	100.0%

表-23 アンケートの実施方法(複数回答)

項目	①イベント等会場調査	②街頭調査	③郵送調査	④インターネット調査(メール・SNS含む)	⑤電話調査	⑥訪問調査	⑦その他
実施数	22	0	1	5	0	0	3
実施率	75.9%	0.0%	3.4%	17.2%	0.0%	0.0%	10.3%
昨年度実施率	66.7%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%

あった。

(10) 街頭啓発

街頭啓発の実施状況については、4.4%の30団体が「実施した」と回答しており、昨年度と比べ増加している（表-25）。

実施場所は、「庁舎内」が36.7%と最多で、次いで「駅」（33.3%）、「商業施設」（30.0%）となっている（表-26）。

(11) 奉仕活動

奉仕活動の実施状況については、9.1%の62団

体が「実施した」と回答し、昨年度から19団体の増となっている（表-27）。

活動内容としては、「無料点検（パッキン交換など）」が46.8%と最も多く、次いで「河川などの清掃」（17.7%）となっている（表-28）。

また、無料点検を実施した施設については、「希望者宅」及び「学校・福祉施設」での実施が同率の44.8%で最多であった（表-29）。

(12) その他の取組み

施設見学会等のイベント開催に併せて、小学生

表-24 アンケートの内容（複数回答）

項目	①水道水の 水質 (飲用・安全 性など)	②水道水の 使用状況	③給水装 置・給水管 の維持管理	④水道料金	⑤水道工事 (水道施設 の耐震化含 む)	⑥防災・災 害の備え	⑦水道メー ターの検針	⑧水道事 業の経営	⑨広報活 動	⑩その他
実施数	17	11	2	10	7	15	1	6	15	11
実施率	58.6%	37.9%	6.9%	34.5%	24.1%	51.7%	3.4%	20.7%	51.7%	37.9%
昨年度 実施率	77.8%	66.7%	11.1%	44.4%	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%	44.4%	22.2%

表-25 街頭啓発の実施

項目	今年度		昨年度		令和元年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	30	4.4%	19	2.8%	74	9.5%
実施していない	652	95.6%	657	97.2%	704	90.5%
合計	682	100.0%	676	100.0%	778	100.0%

表-26 街頭啓発の実施場所（複数回答）

項目	①駅	②庁舎内	③商業施設	④その他
実施数	10	11	9	6
実施率	33.3%	36.7%	30.0%	20.0%
昨年度 実施率	21.1%	73.7%	10.5%	26.3%

表-27 奉仕活動の実施

項目	今年度		昨年度		令和元年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	62	9.1%	43	6.4%	103	13.2%
実施していない	620	90.9%	633	93.6%	675	86.8%
合計	682	100.0%	676	100.0%	778	100.0%

表-28 奉仕活動の内容(複数回答)

項目	①河川などの清掃	②水源林の植樹	③無料点検(バッキン交換など)	④その他
実施数	11	2	29	17
実施率	17.7%	3.2%	46.8%	27.4%
昨年度実施率	20.9%	0.0%	46.5%	32.6%

表-29 奉仕活動における無料点検の方法・施設(複数回答)

項目	①希望者宅	②学校・福祉施設(保育園・児童館・老人ホームなど)	③公園	④その他
実施数	13	13	9	3
実施率	44.8%	44.8%	31.0%	10.3%
昨年度実施率	30.0%	50.0%	25.0%	30.0%

から一般市民まで様々な年齢層を対象に、水道水が作られるまでの過程や、その地域の水道の歴史・取組み等を紹介した広報DVDを上映したという報告があった(別紙-1)。なお、近年では動画を公開する場を、YouTube等の動画配信サービスとする事業者が増加し、いつでもどこでも見られるという住民サービスの向上にも寄与している。

また、出前講座では、地域の水道の概要や水道水ができるまでの過程の説明、汙過の実験や応急給水等の体験型の講座を実施する小学生を対象としたもののほか、水道を身近に感じられるよう、幼稚園児を対象として実施した講座の報告もあった(別紙-2)。

その他、水道についてPRを図ることを目的として、地域住民を対象に、パネル・写真や水道施設の模型等の展示、防災や備蓄に係る啓発を行うといった企画が多く報告された(別紙-3)。

3. 本協会の活動状況

(1) 正会員等の水道週間実施細目の決定及び協力依頼

厚生労働省による「第64回「水道週間」実施要綱」に基づき、実施細目を策定し、全正会員に通

知するとともに協力を依頼した。

(2) 水道週間ポスターの作成配布

今年度のポスターは、第64回水道週間スローガン「大切な水と一緒に暮らす日々」及び第63回水道週間協賛「懸賞募集」図画の部(中学生)の特選作品を用いて作成し、安全で良質な水道水の安定的な供給を目指している中で、限りある水資源の大切さを国民に意識してもらえるものとした。作成した約40,000枚のポスターは、日本水道新聞社作成の水道壁新聞とともに、正会員・関係団体等に配布した。

(3) 水道週間各種広報資料の作成及び頒布

本協会では、水道事業者の各種広報活動に利用いただけるよう次の広報資料を作成し、頒布している。

①みんなの水道2022(B5判:8頁)注文:50冊単位 @2,200円(税込)

日本の水道事業の現状とこれからの水道について、イラスト、写真、水道統計等のデータを中心に、グラフや図を用いて解説したパンフレットで、一般向けや水道施設見学等の参考資料として利用されている。



図-2 みんなの水道2022表紙

②水道の話シリーズ第56集－水のおはなし－

◆豆知識：日本の水道データ（B5判変形：8頁）注文：50冊単位 @1,650円（税込）

水の大切さをはじめ、水道の役割、施設の働き等について、イラストを用いて絵本風にまとめたパンフレットで、小学生を対象とした水道施設見学等の広報資料として利用されている。最新の水道統計から、水道管の布設総延長や水道料金等を身近に感じられるよう豆知識を交えて解説する内容としている。



図 -3 水道の話シリーズ第56集表紙

別紙-1 広報ビデオの上映について

事業体名	媒体の種類	題名	制作者	映写の機会	対象者
青森市	データファイル	・青い森の水辺から ・青森市水道のあゆみ	青森市企業局水道部	青森市役所広報スペースへの 設置(1か月間)	一般市民
八戸圏域水道企業団	DVD	みんなの水道のおはなし	八戸圏域水道企業団	イベント開催時	イベント参加者
上尾市	DVD	わたしたちの水道水～ みず丸くん水の旅	水道産業新聞社	施設見学会	見学会参加者
狭山市	DVD	ミズの旅 ～水道水 が届くまで～	(企画) 狭山市上下水道部 (制作) 日テレアックスオン	パネル展示開催時	市民
所沢市	DVD	ところざわの水道	所沢市上下水道局	5月31日～6月7日までの展 示期間中、商業施設のモニ ターでリピート放映した。	商業施設の来場 者
豊田市	データファイル	森が育てる水	豊田市上下水道局総務課	豊田市ホームページに掲載 (YouTube リンク)、地域情報 番組	豊田市の水道利 用者
沼津市	DVD	沼津市送水管理セン ター 世界遺産「富士 山」の恵み	沼津市	送水管理センター施設見学 時、各種イベント開催時	沼津市民・清水 町民
三島市	データファイル	三島の水道水ができる まで ～きれい・気持 ちよい・そして・・・～	三島市広報情報課	地元 CATV (トコチャンネル) で放映していただいた。	-
岐阜県	DVD	安心安全な水が届くまで 岐阜県営水道の概要	岐阜県東部広域水道事務所	受水市町小学校に貸し出し	受水市町小学校 児童
吹田市	DVD、データ ファイル	・このまちの水の未来 を考える ・片山浄水所リニュー アル事業 ・潜入 片山浄水所 ・安全な水を強靱な施 設から	職員	水道展開催時	来庁者
伊丹市	DVD	「ウォーターくんの旅」 ～水道の水ができるま で～	伊丹市上下水道局	施設見学会	市民(浄水場見 学会参加者)
大津市	YouTube 及び DVD	Otsu Watar Planet ①君に知ってほしい水 のこと ②水道水が届くまで ③みんなが知らない浄 水場のセカイ	大津市企業局(立命館大学と の協働制作)	6月1日～7日まで大型スー パー平和堂3店舗のテレビ画 面にて常時リピート再生し、 動画に関するクイズに答えた 方に景品を進呈した。 また、6月4日は大津市立図 書館の視聴覚ホールにて親子 向けに上映を行った。	大津市民等
古賀市	DVD	水の冒険	福岡地区水道企業団	福岡地区水道企業団との共催 イベント会場で繰り返し上映 していた。	水道まつり(5 月28日)参加者
福岡地区水道企業団	DVD	企業団広報用ビデオ 「水の冒険」	福岡地区水道企業団	イベント会場の大型テレビで	イベント来場者 (主に小学生向 け)

事業体名	媒体の種類	題名	制作者	映写の機会	対象者
佐賀市	データファイル	1. 「水道水ってどうやって作るの？」編 2. 「ねえ知ってる？浄水場のこんなこと」編	佐賀市上下水道局	佐賀市上下水道局ホームページ内 水道週間特設ページ	佐賀市上下水道局ホームページ来訪者
石垣市	DVD	鳥の水はどこから来るの？ ～江田島市の水道～	西戸崎興業株式会社	パネル展示会時	パネル展示会来庁者

別紙-2 水道出前授業の実施について

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
我孫子市	出前講座	我孫子の水道水ができるまで (座学・実験)・授業 (10:35～11:20)	事務・係長1名、主任主事1名、主事1名 計3名	小学4年生
山武郡市広域水道企業団	水道出前講座	私たちの生活に欠くことの出来ない水道について興味・関心をもっていただくため、山武地域の水道事業について説明。時間は45分。	事務職員2名	企業団給水区域内 (東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・横芝光町)の小学4年生
宇都宮市	上下水道オンラインセミナー	水の循環 (上下水道) に関する講義や実験 (45分～60分程度)	宇都宮市上下水道局職員が1講座2名体制で実施	市内に在住又は通勤通学している、10名以上で構成された団体
豊川市	水道出前講座	内容：水の循環を基本として、主に豊川市の浄水場施設の紹介を行い、その後濾過器を用いた濾過実験を行う 時間：1時間程度	1講座につき主事、技師、各1名	豊川市内の小学校4年生 (23校、約1,300名)
半田市	水道出前講座	・水道水ができるまで ・浄水場の仕組み ・水の大切さ ・災害の備え ・上水模型をつかった実験	職員10名	市内の全小学校の4年生
四日市市	こども水道講座「いつでも水道水!おいしい水」～水道水の大切さ、おいしさ～	場所・時間：市内の私立幼稚園5園、1回1時間程度 内容：応急給水の実演、水道クイズ、手洗いチェック	上下水道局職員 (事務職3名、技術職1名)	年長児 (576名)
静岡市	①水道出前講座「水道水はどこからくるの？」 ②特別講座「水と豊かな暮らし」	①市政出前講座「私たちの上水道～水道水はどこから来るの？」を小学4年生向けに調整した。学校までの水道水の道のり、上下水道局の仕事紹介、実験 (凝集・濾過)、クイズなど通常版を短縮し30分間で行った。 ②水道関連事業者で障がい者アスリートでもある講師に、仕事内容や自身の経験談などを講義していただいた。(45分間)	①静岡市上下水道局職員 事務職 1名 ②ロンドンパラリンピック陸上競技に出場し、現在、水道事業者 (設計担当) である春田純氏	代表小学校の4年生3クラス78名

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
門真市	出かける水道教室	水道事業に携わる職員が講師として学校へ赴き、子ども達に簡単なクイズや実験を体験してもらい、普段利用している水道水についての理解を深めてもらっている。 時間については、1限45分の時間を2限使って実施。	上下水道事業に携わる職員(事務職、技術職、化学職)5～6名	市内小学校の4年生を対象
箕面市	上下水道局の職員による出前講座	内容：パワーポイント資料による「みのおの水道」に関する説明と「フロック実験」や「汙過実験」を通じて、水の大切さについての理解を深め、自分の身近なところで何ができるかを考えてもらう内容とする。 所要時間：約90分	講師(箕面市上下水道局広報啓発検討委員会委員、委員等の人数 計10名)	箕面市内の小学4年生を対象(実施校は4校/児童総数429名)
甲賀市	水道学習会	水の大切さ、水道水ができるまで(1時間)	上水道課職員2名	市内小学校4年生
愛知郡広域行政組合	講師派遣	水の循環から水道(浄水場)のしくみ、利き水体験など(90分)	係長 外1名	給水区域の小学校4年生(希望小学校のみ)
田辺市	私たちの水道について	例年行っている施設見学会に代わり小学校に向いて、取水から浄水、そして給水に至るまでの過程や水道の利用について、スライドを用い約1時間の予定で行う。	技能・事務職等の職員(3～4名)	小学生
尾道市	小学校への出前授業	通常授業の3、4時間目を使って実施する。 3時間目は、上下水道局職員が講師になり、以下について学習する。 ①「パワーポイントを使用した「水ができるまで」の説明 ②汙過装置を使って汚れた水がきれいになる実験 ③「配水池から家庭に水が届くまで」の仕組み 4時間目は、上下水道局職員の説明のもと、管工事協同組合の協力により給水車の送水を利用した漏水管の修理の実演を見学、最後に給水袋を使用した応急給水を体験してもらう。	尾道市上下水道局7名〔事務技術職7名(技術職5名/事務職2名)〕・尾道管工事協同組合3名	尾道市内の小学4年生(1校/24名)
三次市	浄水場の仕組みの説明	内容：飲料水ができるまでの仕組み 時間：1時間程度	浄水場管理委託業者2名	市内小学校4年生2クラス対象

別紙-3 その他イベント・行事の開催について

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
小樽市	水道週間パネル展	水道施設を紹介するパネルの展示	市民	市役所渡り廊下
千歳市	配水量予想クイズ	6月の配水量を予想するクイズの回答をWEB上及び紙面にて募集し、応募者の中から正解に近い100名に、景品として水道水利用促進を目的としたマイボトルの配布を行うイベント。	市民	WEB上及び浄水場附属の水道広報施設(水道情報館)に回答箱を設置
網走市	水道関連パネル、資料展示	「パネル展」を庁舎内で開催。大パネル6枚で当市の水道のあらまじや、水源地・配水池等の各施設について写真と文章で紹介。小パネル25枚で昭和27年～29年の工事風景写真により開設当時の様子を紹介。 また、水道管の一部を各口径毎に展示。埋設されているため普段は見ることのできない資材に触れてもらった。	市民全体	庁舎内入口
北見市	デジタル展示	北見市のホームページ上で水道水ができるまでの過程や正しい手の洗ひ方、暮らしや遊びに役立つ水道の豆知識などを紹介。	限定しない	北見市ホームページ
大崎市	水と暮らしの企画展	募集したぬり絵の展示、地域の水道の歴史に関する展示、水道に関する簡単なクイズの展示、PACを使用した水処理の実演等を合同した催し	主に小学生以下の親子	大崎市図書館内の研修室やホール
多賀城市	パネル・模型展示	水道に関するパネルや耐震管の模型などの展示	市民の方	多賀城市市民活動サポートセンター
登米市	稚魚の放流	母なる川「北上川」がいつまでも魚が住めるような綺麗な川であるように願いを込めて、放流を行う。	登米北上こども園と登米幼稚園の園児	北上川右岸「登米水辺プラザ船着場」
福島市	水道まつり2022	水を使ったサイエンスショー、バスボム作りなど水に関連する体験コーナーなどを7月2日に開催予定。※アンケート実施時点	市内小学生	アクティブシニアセンター アオウゼ
青森市	あおもりウォーターフェア	水道事業の紹介展示、ステージイベント、小学生対象の参加型イベント等	一般市民	青森市役所本庁舎
八戸圏域水道企業団	楽しく学ぼう「水道」のこと！ In 八戸圏域	八戸圏域の水道について説明し、最後に確認テストを行って参加者の理解を深める。 (浄水場で学ぼう(水道水ができるまで)、災害対策を学ぼう(地震に強い耐震管とは)、家庭の水道を学ぼう(給水装置ってなに))	小学生以上	八戸圏域水道企業団本庁舎・白山浄水場
弘前市	「水道週間」イベント	水道関連のパネル展示、バスボムづくり、水中コイン落とし、浄水実験、クイズ	市民	市内公共施設
山形市	水道週間パネル展示	安全安心な水づくりや災害時における拠点給水所の取組等について紹介。また、令和5年5月に「山形市水道通水100周年」を迎えることについて周知を図った。	市民	霞城セントラル 1階 アトリウム(山形市城南町1丁目1-1駅に隣接)
秋田市	水道ふれあいフェア	アンケート、展示、啓発グッズ配布、相談所設置など	来場者	秋田駅周辺

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
岩手中部水道 企業団	水道週間特別企画 図書館展示	構成市町図書館6館での水道に関する書籍及び耐震管についての説明パネル等の展示。	図書館来館者	北上市立図書館、花巻市立図書館(花巻・大迫・石鳥谷・東和 4館)、紫波町図書館
川崎市	第64回水道週間かわさきみずみずフェア	水をそなえようコーナー：飲料水の備蓄啓発パネルの展示や防災マップ等パンフレット類を配架しました。 水をまなぼうコーナー：市民の方に凝集実験を体験してもらいました。 作品コンクール受賞作品の展示：令和3年度水道週間小・中学生作品コンクールの受賞作品を展示しました。 山北町コーナー：川崎市の水源の1つである丹沢湖がある山北町の方を招き、山北町のPR等を行いました。	一般市民	JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路
小田原市	水道週間イベント	水道水と市販の飲料水の飲み比べ、応急給水体験、水道管バルブ操作ゲーム、漏水修理体験、ミニ浄水場実験	一般市民(市内外を問わず)	小田原城本丸東堀・花菖蒲園
座間市	水道ふれあいフェア	座間市の水道をPRするパネルおよび『井戸』と『水道メーター周辺部』模型の展示発表を行う。同時に市の水道や、水道そのものに関するパンフレット、完成すると水道啓発品と引換え可能なぬりえを机上配布する。	来庁者	座間市役所1階アトリウム
狭山市	パネル展示	家庭における水との関わりの紹介、水道メーターの検針のお願い、漏水の注意喚起	市民	狭山市役所1階エントランスホール
ふじみ野市	ふじみ野市水道事業に関するパネル展	本市の水道事業に関するパネルや水道管の模型等を展示した。	特になし	近隣の大規模商業施設
秩父広城市町村圏組合	水道週間標語入り花の種の配布	水道週間にあたり、水道事業に関心を持ってもらうとともに水の大切さを啓発するため、水道週間標語入りの花の種を配布した。	構成市町の各小学校3年生児童680名	各小学校を通して配布
鳩山町	水道週間啓発活動	公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るため、水道の重要性を認識してもらうとともに、町民一人ひとりに理解と関心を高めてもらう。	町民及び町立図書館来館者	町立図書館
安中市	久保井戸浄水場施設見学会等イベント	緊急用小型浄水機の稼働実演、給水車の展示・非常用給水袋注水体験、金魚すくい、耐震型铸铁管模型の展示、施設見学者景品抽選会、鉢花・ペットボトル飲料・ティッシュの配布	来場者	久保井戸浄水場
渋川市	水道週間啓発事業	給水栓パッキンの無料配布	水道使用契約者	上下水道局業務課及び各行政センター
高崎市	環境フェア2022	環境部門及び下水道局と合同で水道週間イベントを開催	全市民	広場
茨城県南水道 企業団	ポスティング	水道加入促進のグッズ(水道加入促進のチラシ、給水加入金軽減措置の案内、ティッシュ)のポスティング	配水管整備済み地区の未加入世帯(4地区・127世帯)	対象世帯

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
甲府市	①ウォーターアート ワークショップ ②「ぐるぐる回る水 のしくみ」パネル 展	①「甲府の水」をテーマに大人も子どもも楽しく 自由に絵を描いてもらう。「甲府の水」を親しみ、水 について考え直してもらう機会になればと考える。 ②甲府市上下水道局が作成した水環境教育冊子 「ぐるぐる回る水のしくみ」を題材に子どもたち にわかりやすく、甲府の水環境や水道水がご家 庭に届くまでを紹介した。	①親子 ②子ども	①甲府市役所 1 階市 民活動室 ②甲府市立図書館 展示室
豊川市	図書館コラボ展示	期間：令和 4 年 5 月 19 日から令和 4 年 6 月 14 日 内容：水道に関する書籍 100 冊の展示、テキスト 「とよかわ市の水道」を抜粋して展示。水道週間の ポスター掲示。子供向けに消しゴムハンコを作成。 水道週間期間中は、水の缶詰、給水袋を配布。	豊川市中央図書館利 用者	豊川市中央図書館
豊田市	水道フェスタ in と よしば	・豊田市水道事業の現状等に関するパネルの展示 ・老朽化した水道管、地震に強い水道管等（触っ て特徴を体感できます）の展示 ・耐震水道管キャラバンカーの展示 ・給水車の展示 ・そのほか市民参加型催しなど	豊田市の水道利用者	豊田市駅東口まちな か広場「とよしば」 （豊田市喜多町 2 丁 目 166 番）
四日市市	・水道展示「見て！ 知って！四日市の 水道」 ・四日市のおいしい 天然水「泗水の 里」特別販売	・水道展示：図書館での展示（水道に関する資料・ 図書、蛇口、ボトルウォーター） ・特別販売：ボトルウォーターと特産品（かぶせ 茶粉末）の特別セットを販売	一般市民等	・水道展示：市立図 書館 ・特別販売：ボトル ウォーター販売場 所
静岡市	小学 4 年生代表校へ の啓発品贈呈式	第 64 回水道週間（6 月 1 日～7 日）に合わせて、 社会科の授業で上下水道について学ぶ小学 4 年生 へ、啓発品の贈呈式を実施（別紙-2 の水道出前 講座を同時開催）	代表小学校の 4 年生 3 クラス 78 名	市内代表小学校
掛川市	水道感謝のつどい	6 月 3 日に実施。 先人の水道事業に対する功績や水の恵みに感謝し、 水道事業の安全・安心・安定供給を祈願するとと もに、今年度工事の安全かつ円滑な執行を祈願す るイベント。	掛川市民	十九首水源地公園
鳥田市	当市の配水管耐震化 計画について	・融着サドルメーカーをお招きし、座学とデモ カーでの見学会を開催 ・融着サドルの実演	鳥田市管工事協同組 合員	鳥田市稲荷浄水場
沼津市	沼津茶の新茶キャン ペーン	日本茶インストラクターをお招きして、「ぬまづの 水」を使用した呈茶サービスを行った。	市役所来庁者	市役所玄関前ピロ ティ
三島市	水道週間の企画展示	市立図書館のおすすめ図書の展示コーナーで、水 道水をテーマにした関連図書を展示する企画展を 実施した。	一般	市立図書館
西伊豆町	無料巡回サービス	検定満期水道メーター器交換作業及び水道蛇口 パッキン交換	当年度交換対象メー ター器使用者及び水 道蛇口パッキン交換 希望者	町内各所
中津川市	水道祭	水道週間に合わせて、水神碑の前にて「安全・安 心・安定」な水道水を供給するために安全祈願を 実施。	地元区長、市管工事 組合、施設管理委託 業者、市（水道課）	中津川市 実戸浄水 場

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
小浜市	ケレップ無料交換	蛇口のパッキンを無料で取り換える(管工事組合が取換作業を行う)。また、自分で取り換える場合は無料でパッキンを配付。	本市水道利用者	上下水道課で受付後、各申込者の自宅を訪問
伊那市	水道週間に関する展示	クリプト、ジアルジアに関する説明、膜汚濁に関する説明、紫外線処理に関する説明、PACを用いた沈殿の説明・見本の展示、給水車の展示・給水実演、災害時応援給水の紹介、公式インスタグラムによる市内水源・水道施設に関する写真の展示	市民・来庁者	市役所本庁舎内
駒ヶ根市	水源祭	安全祈願	主催：駒ヶ根市水道指定店組合	切石浄水場
佐久水道企業団	一日企業長	水道モニターの代表として佐久水道女性水の会の会長に一日企業長をやっていただき、水道事業への関心と理解を深めてもらった。	利用者	事務所・水道施設
豊中市	「水に関する図書コーナー」	市内4か所の市立図書館に「水に関する図書」のコーナーを設置	図書館を利用する一般市民向け	千里図書館・野畑図書館・岡町図書館・庄内図書館
宇治市	パネル展示・市内各図書館にて水道に関する本を集めたスペースを設置	パネルを作成・展示。 市内各図書館にて水道に関する本を集めたスペースを設置。	市民	宇治市役所1階市民交流ロビー(パネル展示)、市内各図書館
小野市	耐震性貯水槽を使った災害給水訓練	市職員と水道組合の業者で、地震が発生したと想定して耐震性貯水槽の水を住民に配る訓練を行った。	市職員と水道組合の業者	庁舎駐車場
加東市	水道事業に関するパネル展示	水道週間の広報、水道施設(浄水場や配水池)の情報、浄水場の処理方法の説明、耐震管への更新や耐震管の説明	一般市民	市役所ロビー
三田市	パネル模型の展示	水道週間のPR、耐震管の模型展示、浄水場の説明 パネル展示	市民	市役所庁舎内
播磨町	第64回水道週間	当町の水道事業(耐震化等)に関するパネルや模型を展示	公民館来館者	公民館
大津市	水道ブックフェア	6月1日～29日まで大津市立図書館にて、水道に関する本を集めて展示し、積極的な貸し出しを行った。	大津市民等	大津市立図書館
呉市	水道週間パネル展	水道事業に関する内容をパネル展示により来場者に紹介する。	市民	呉市役所1階多目的ホール
福山市	水道週間パネル展	「福山市の水道の歴史」、「福山市の水道水」、「福山市の水道事業の取組」等について	公共施設利用者	まなびの館ローズコム(福山市霞町一丁目10番1号)
岡山市	水道に関するパネル等の展示	水道週間ポスター・壁新聞、水道局の災害対策についての説明パネル、配用水ポリエチレン管、非常用水袋、消火栓デザイン鉄蓋の展示を行った。	市役所来庁者	岡山市役所1階市民ホール
倉敷市	パネル展示	ローリングストックなどのパネルを展示。過去1年間の広報紙の掲示など。	本庁・開催対象支所来庁者	本庁、水島・児島支所
下関市	耐震管模型の展示	一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会より拝借した耐震管模型の展示	来局者	上下水道局1階ロビー(下関市春日町7番32号)

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
岩国市	地球温暖化対策推進 行事・水道週間、環 境月間行事「岩国環 境フェスタ2022」	パネル展示（災害時の応援給水活動の様子、耐震 管のPR、水道水の水質について）	市民	岩国市役所
宇部市	①水神祭 ②鮎の放流 ③漏水発見者に粗品 進呈	①浄水場内の水神社を幹部職員で参拝 ②職員で水源上流域に鮎の稚魚を放流 ③水道週間期間中に公道面の漏水を発見・通報し た方に粗品を進呈	①なし ②なし ③市民全般	①中山浄水場 ②大田川
田布施・平生 水道企業団	井戸水の無料水質検 査	井戸水の無料水質検査	田布施・平生水道企 業団給水区域内で井 戸水を飲用している 人	柳井健康福祉セン ター（受付場所）
米子市	構内美化清掃、米子 市水道局キャラク ターポロシャツの着 用	・水道週間に合わせ、全職員で構内美化清掃を 行った。 ・水道週間初日にあたる6月1日に全職員でキャ ラクターポロシャツの着用	局職員	米子市水道局
高知市	水のふるさとフェス ティバル2022	水道週間に合わせて毎年実施しているイベント 高知市の上下水道事業を知ってもらうこと、高知 市の水源流域（土佐山・鏡地区・土佐町・仁淀川町） との交流を目的としたイベント。イベントでは局 各課のブース（水に関する実験コーナーなど）や 水源流域の物産店を出店。	高知市民	高知市中央公園
古賀市	水道まつり（5月28 日）	水道に関心を持っていただくため、福岡地区水道 企業団と共催で水道週間のイベントを開催。 水道に関するクイズ、本の展示、きき水、つまめ る水の体験、型抜き、広報DVDの上映など。	市民一般	リーバスプラザこが
太宰府市	水道週間パネル展示	市役所の市民ギャラリーにて、筑後川水源につい ての説明や安心・安全な水道水をテーマにしたパ ネル5枚を展示した。	市民	太宰府市役所
柳川市	水道週間啓発	水道週間ポスター・のぼり旗・広報グッズ（圧縮 ハンドタオル）を設置し、水道週間啓発を行った。	市役所へ来庁された 方	市役所総合窓口付近
春日那珂川水 道企業団	Twitter を活用した クイズイベント	企業団公式 Twitter に投稿されたクイズに解答し、 アカウントをフォローしてくれた方に、エコバッ グとアルミ缶ボトルをプレゼントした。	20～30代	企業団公式 Twitter
福岡地区水道 企業団	水道週間イベント 「水道まつり」	水道関係啓発パネル展示、企業団広報ビデオ、水 道クイズ、水の飲み比べ、つまめる水の体験、型 抜き体験、水に関する絵本展示、水道アンケート、 給水車展示	限定はないが、主に 小学生及びその保護 者	リーバスプラザこが （当企業団構成団体 である古賀市の生涯 学習センター）
佐賀西部広域 水道企業団	応急給水訓練	災害発生時の給水拠点の設営を想定し、車載式給 水タンクによる拠点給水、組立式給水タンクによ る拠点給水、給水車による応急給水の訓練を行っ た。	職員のための訓練（訓 練状況は新聞、TV の取材を受け、需要 者へのアピールを 行った。）	佐賀西部広域水道企 業団敷地内
那覇市	第64回水道週間ポス ターコンクール入賞 作品展示	那覇市内の小中学生を対象に行われた水道ポス ターコンクールにて、入賞となった作品を6月20 日～30日の11日間、市内のショッピングモールに 展示する。	市民	市内ショッピング モール